

新宮山彦ぐるーぷ第1844回

## 釈迦ヶ岳〜楊子ノ宿小屋間の登山道整備

◇実施日：平成27年10月31日〜11月1日  
◇参加者：青木宏充、鈴木貴宏、梶野照雄

10月31日(土) 晴、午前中強風

午前8時15分登山口に到着。気温も低く、上部の紅葉もすでに終わっているようで、駐車場にはまだ空きがある。

荷物の準備をしていると、鈴木さん同乗の青木車が到着する。午前8時45分、登山開始。不動木屋登山口分岐、古田ノ森で休憩して、かくし水の水場に10時55分に着いた。水は全く流れしていない。真下の岩は、若干の湿り気があるので、涸れてからは間もないと思われる。

少し登って、奥駆道の三叉路付近の笹を鎌で刈って広くする。午前11時30分、釈迦ヶ岳山頂に到着。

写真を撮って休憩する。風が強いので、孔雀岳方向へ降りて、尾根を東側に回り込んだ所で昼食を摂ることにして下降を始める。



登山口で



かくし水で



釈迦ヶ岳に到着

昼食後、最初の大きな岩を東側にトラバースしている部分の笹刈りを始める。今回新たに導入した電動のヘッジトリマーの出番である。



笹刈り開始



ヘッジトリマーを使う



刈り込み後

ヘッジトリマーは、主に生垣の剪定を効率よく行うための器具であるが、直径10mm程度の枝を切り落とす力を持っている。今回の行程で刈り込む予定の笹は、南奥駆道の笹とは違い、茎の直径が1〜3mmである。ヘッジトリマーの能力に十分な余裕があると考え、青木さんに提案した所、すぐに調達していただいた。重量が電池も含めて2kgちよつと。エンジンの物は5kgを越えるので、持ち運びや取り回しが楽に行える。欠点は、電池の使用時間が限られることで、とくに低温下ではカタログ通りの時間は使用できない。カタログに連続使用時間1時間とあったが、今回使ってみると、電池が無くなるまで約40分だった。それでも、鎌で刈るのと比べると5倍以上のスピードで刈りこめる。30m位を5〜6分で刈ることができた。ただ、大量に切り落とすので、登山道に落ちた笹を掃除する作業が必要になることがわかった。

その後何か所かの笹刈りを続けている間に、9名のグループが通過する。今夜は楊子ノ宿小屋で泊るといので、一階を使うようにお願いして通過していただいた。15時45分に孔雀ノ覗に到着。ここまでの作業時間は1時間を越えていたと思う。

孔雀ノ覗から北側に笹は殆ど無く、順調に奥駈道を北上した。孔雀岳北の水も完全に涸れていた。仏生嶽の西側を巻く付近から青木さんの様子がおかしい。ヒザに痛みが出て踏ん張りが利かないという。鈴木さんに先行してもらい、ザックからマグライトを取り出し日没に備える。青木さんの後に付き、ゆっくりと下っていくが、楊子小屋の手前で真っ暗になってしまった。

楊子小屋の上方約150m付近で道をロスト。かろうじて小屋から漏れる明かりが見えたので登山道に復帰する。ここでも青木さんが以前張ったロープが見えたので登山道に復帰する。ここでも青木さん楊子小屋到着は当初予定より1時間20分遅れの18時20分だった。

鈴木さんは17時30分に到着していた。一階の9人のグループはすでに夕食は終えていた。前鬼と行者還トンネル西口に車を置いてあり、あすは八経ヶ岳を越えて下山するそうだ。



鈴木さん作業中



刈り込み後



岩場を登る



鳥の水も涸れていた



真っ暗な中小屋に到着



夕食中

荷物を二階に持ちあげ、19時から青木さんに用意していただいた「てつちり」を始める。こんな山の最深部でフグ鍋を頂けるなんて、通常の登山者には理解しがたいことかもしれない。最高においしかった。

### 11月1日(日) 晴のちうす曇り

午前5時に階下のグループが起きだして朝食の準備を始めた。青木さんは前夜にガスカートリッジ無くなってしまったので、階下のグループから分けてもらうべく降りて行かれた。ガスカートリッジは入手できたので、水を1.5リットル提供した。

9人のパーティーは午前7時に八経ヶ岳に向けて出発、出発時に新宮山彦ぐるーぷのPRと南奥駈道への勧誘を行った。中に行仙小屋利用された方がいて「トイレもきれいだし、電気もついて最高でした」とおほめいただいた。改築した持経宿小屋にもLED照明がついたことを説明し、是非来訪をとお願ひして見送った。



午前7時30分、楊子ノ宿小屋を出発。青木さんは痛み止めの薬が効いてきて痛みはだいぶ緩和らいだという。しかし痛みが改善されただけで、痛みの原因が解消されたわけではないので、深仙宿経由をやめ、真っすぐ登山口まで戻ることにする。昨夜、間違えて下ってしまった場所にロープを張って誘導標にする。登りでは間違うことがないが、真っ暗な下りではうっかり侵入しそうな場所だった。そのためか若干の踏み跡も認められる。念のため蛍光テープも巻いた。



楊子ノ宿小屋出発



障害となる枝を切る



仏生嶽西側から

ここまでの登山道には小さいながらも霜柱があちこちにあり、今朝の冷え込みが厳しかったことがうかがえる。階下に泊った9名のおかげで、2階の最低気温は7℃と暖かく過ごせた。倒木の突き出した部分や、登山道に伸び出て体に当たる枝を切りながら順調に進む。鈴木さんに先行してもらい、笹の密度の高い部分の整備をお願いする。10時30分、孔雀岳西側で鈴木さんと合流、休憩する。

残りの電池で笹刈りを続行し椽ノ鼻北方で昼食、ヘッジトリマーで笹を刈り、座れる場所を確保した。

青木さんのヒザの痛みが再発し若干のペースダウンとなる。杖捨てや馬の背の通過を控えているので、慎重に行動する。12時40分、椽ノ鼻を通過、釈迦ヶ岳には14時15分に着いた。かくし水の水場で休憩。背負子をおろすと、差し込んでいた鋸と鎌が無くなっていった。どうやら下る途中で抜け落ちたようだ。「探してきます」と鈴木さんが登って行かれる。「もういいで」と声をかけるが、すぐに見えなくなってしまった。15分ほどたつて「ありました」と鋸と鎌を持って鈴木さんが降りてこられた。不注意でご足労をおかけし、申し訳ない。古田ノ森、不動木屋登山口分岐で休憩後16時40分登山口に下山した。

今回投入した電動ヘッジトリマーの威力は、期待を大きく上回った。電池の持ちをマイナスしても、機動性や刈り幅の大きさなどから、人力で刈る作業の何十倍の作業をこなせたと思う。日帰りで行っても、相当の距離を刈ることが期待できる。



要所にトラロープも



電池の許す限り



釈迦ヶ岳山頂で

行動タイム

10月31日(土)

8:15 太尾登山口 8:45→11:30 釈迦ヶ岳↓昼食・作業 15:45  
孔雀ノ覗↓18:20 楊子ノ宿小屋↓19:00 夕食 21:30 就寝

11月01日(日)

6:00 起床・朝食↓07:30 小屋出発・作業↓10:30 孔雀岳西  
休憩↓11:50 椽ノ鼻北、昼食↓14:15 釈迦ヶ岳 14:25→16:40  
登山口

(記 梶野)